

村章

# 広報 なぎじん

(毎月1日発行)

No. 97

1983年12月



### ▲大井川河口のヒルギ

大井川河口に繁茂するマングローブ林。ヒルギ科の植物が群をなしマングローブになるという。村内ではこと湧川方面にみられ、このところ蘇生が著しい。

細長く伸びた実が、川面をピュンピュンはねるのが楽しくて幼いころよく投げて遊んだものだ。

文明の発達とともに汚染が進み、ここで20数年前エビやカニ、ウナギが獲れたことは、今では夢物語である。

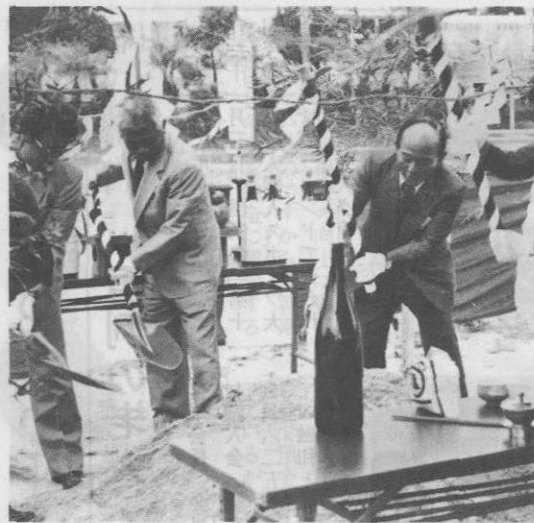
今帰仁村の人口

昭和58年10月31日現在



### 今月の主な内容

- 二・三 大型コミュニティセンター建設工事着工  
来年五月二十日完成予定
- 四 楽しく・ゆかいに・にぎやかに  
恒例の老人・婦人スポーツ大会開催
- 五 国民年金  
疑問と不安におこたえします
- 六・七 上地文子さんに果知事實  
農山漁家で自家菜園の成果を披露  
実績発表
- 八・九 仲原馬場  
原山勝負とマーパラーセイ(競馬)
- 十 若き後継者たち ⑩  
大工もこなす器用人  
仲宗根の諸喜田守さん
- 十一 人権の尊重で住みよい社会に  
十二月四日・十日は人権週間です



▲工事の安全と立派な施設の完成を祈念した起工式（写真=松田村長、工事関係者によるクワ入れ）

規模は、鉄筋コンクリート二階建てで総延床面積は、一千三百八十五平方メートルです。

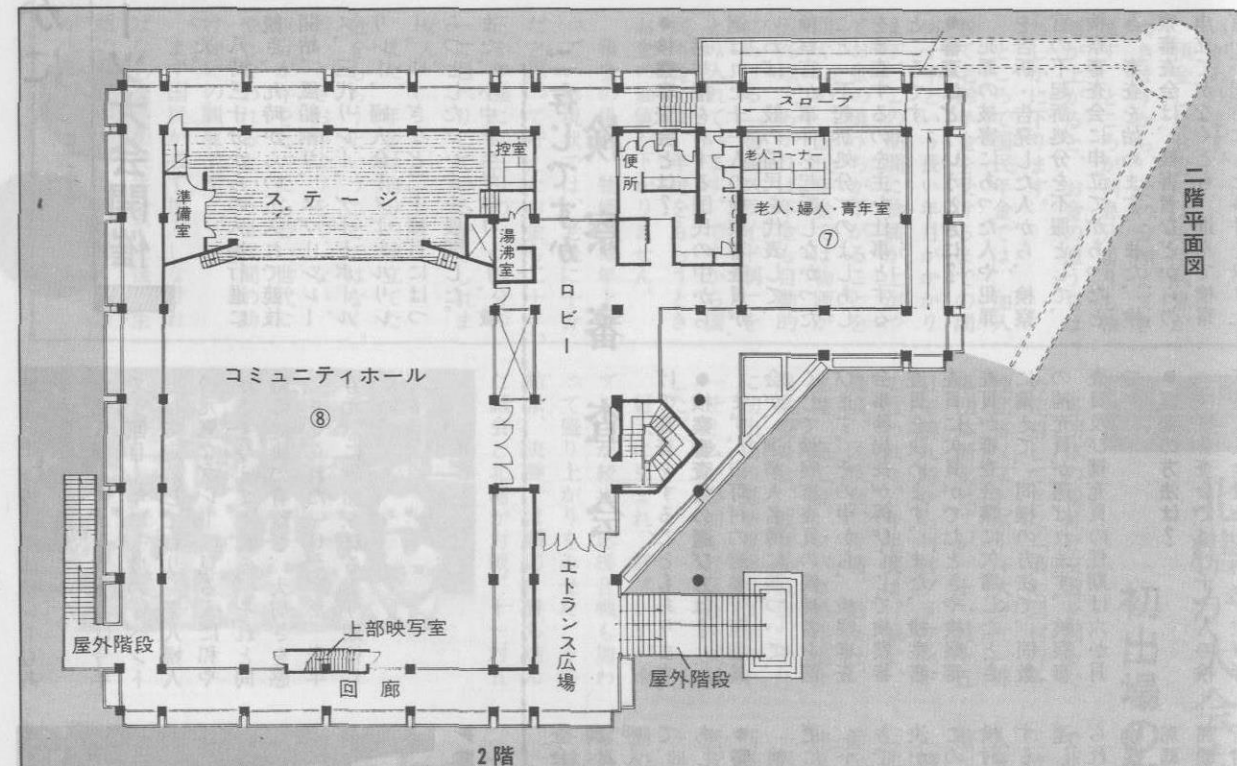
一階は、作業室兼研修室、機能回復室、相談室、娯楽室、事務室等となっています。

二階は、三三〇人収容のコミュニティホール、老人・婦人・青年の室等となっています。

四、工期  
建設工事は、五八年度～五九年度までの二ヶ年継続事業で、昭和五八年十月二十五日着工、昭和五九年五月二十日に完成する予定になっています。

五、工事毎の請負状況  
去る十月二十二日に舞台設備工事を除く、建築工事、電気設備工事、機械設備工事（給排水、及び空調）の入札が行なわれ、工

- 事毎の契約状況は、次のとおりとなっています。
- ▼建築工事  
金額 二〇五〇万円  
請負者 岡大一組・榎孝夫組  
建設工事共同企業体  
代表者 大城栄一
  - ▼電気設備工事  
金額 二二五〇万円  
請負者 池田電気工事社  
代表者 池田清吉
  - ▼機械設備工事（給排水）  
金額 一六七〇万円  
請負者 山川電気工事社  
代表者 山川哲男
  - ▼機械設備工事（空調）  
金額 一一八五万円  
請負者 ㈱沖繩ナショナル特機  
代表者 仲里政幸



- 7. 老人・婦人・青年の室 (86.4㎡)  
30人収容  
老人、婦人、青年等のサークル活動、交流の場、会議、例会、控室
- 8. コミュニティホール (389.7㎡)  
330人収容  
文化活動交流会、講演、総会、老人大学、結婚披露宴、生年祝、敬老会、成人式、展示会、住民検診、予防接種、映写会、ダンスパーティ等

# 演劇・結婚式・交流会・研修会・娯楽・相談など多目的に利用できる施設 大型コミュニティセンター建設工事着工

工期10月25日～来年5月20日完成予定

楕音高く大型コミュニティセンターの建設工事が、着々と現場前広場の同敷地において進められています。

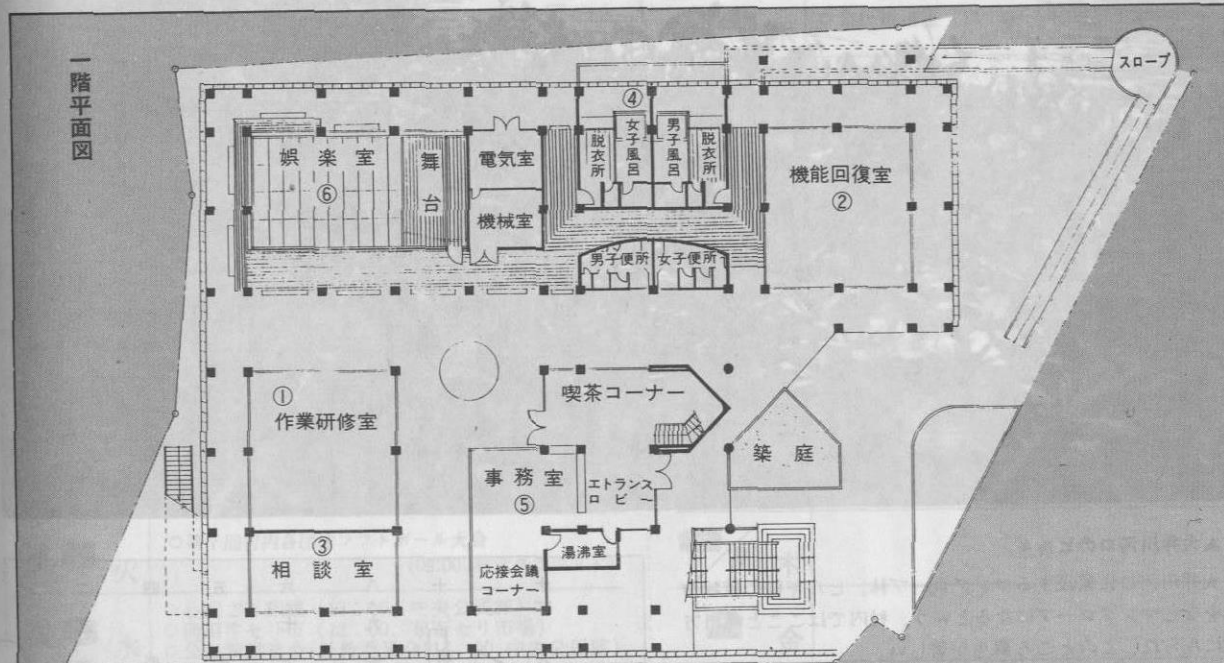
本紙第九三号、九五号でその概要も報告してありますが、今回は、それ以後の経過や工事の請負関係等について御説明します。

一、工事の安全を期して起工式を行なう  
コミュニティセンターの起工式は、去る十月二十六日、午後三時から同敷地内で行なわれました。

起工式には、各団团长、各区长、村議会、コミュニティセンター建設諮問委員、村役場、工事関係者ら多数が出席し、安全祈願のあと、松田幸福村長、工事請負者らによってクワ入れが行なわれ、工事中の安全と立派な施設の完成を祈念しました。

二、建設の目的  
このコミュニティセンターは村民の自主的活動、豊かな人間形成、村づくり等の拠点となり、さらには高齢者の生きがいの場等の社会福祉の増進を図るための施設で、多目的に利用することができま。なお、利用計画については今後各団体や村民の皆さんの十分な検討をお願いしたいと考えています。

三、規模と内容



- 1. 作業室兼研修室 (86.4㎡) 1階  
60人収容  
各種研修、講習会、民芸品の製作の場、生きがいの場、各種団体の例会
- 2. 機能回復室 (86.4㎡)  
12人収容  
老人、身体に障害のある人々の機能回復訓練、栄養、運動等の指導。
- 3. 相談室 (43.2㎡)  
8人収容  
心配ごと相談、人権、健康相談
- 4. 浴室  
男 21.6㎡ サウナ設置  
女 21.6㎡ "
- 5. 事務室 (54㎡)  
3人収容  
センターの管理運営、事務
- 6. 娯楽室 (97.2㎡)  
60人収容  
囲碁、将棋等趣味の研修、交流会、懇親会、語らいの場

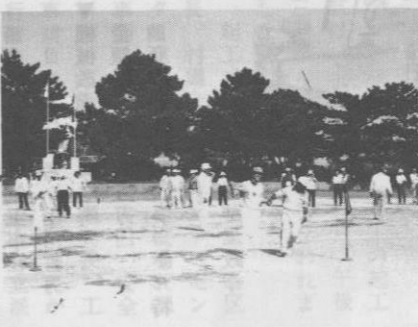
# 楽しく・ゆかいに・にぎやかに

## 恒例の老人・婦人スポーツ大会開催

秋晴れのスポーツ日和に恵まれた十一月三日、恒例の「第十回今帰仁村老人婦人スポーツ大会」が村営グラウンドで行われた。大会は村老人クラブ（湧川



ウィン早く割れて、(風船割り競争)



初めてとり入れられたゲートボール競争



▲なかなか入りません (老人クラブによる玉入れ)

善雄会長、会員一、〇〇五人) 村婦人会(諸喜田スエ子会長、会員六二五人)共催によるもので、融和と体力づくりに役立てようと、約二千人余が参加し賑

った。八時三十分からの入場行進に続き、九時からの玉入れで競技開始。風船割り、スプーンレース、三代リレー、ゲートボールリレー、婦人会千メートルリレー、ゆうぎなど二十種目にはつらつとしたプレーを展開した。また、小中学生学年リレー、職

域リレー、後援団体リレーもあり大会に花を添えていた。老人婦人スポーツ大会は今年で十回目 年に一度のイベントとして定着しており、老人婦人の元気なプレーは見る人に和やかさを与えてくれる。それと同時に健康の有難さ、大切さを感じさせられた一日だった。来年も元気に参加されるよう期待したい。



▶せい一ぱい走りました！ (婦人会の千メートルリレー)

## ご存じですか 検 察 審 査 会

● 検察審査会とは？  
選挙権を有する国民の中から選ばれた十一人の検察審査員が、いわば一般の国民を代表して、検察官が事件を起訴しなかったこと(不起訴処分)のよしあしを審査するのを主な仕事とするところです。

● 審査はどのようなときに？  
犯罪の被害にあった人や犯罪者を告訴・告発した人から、検察官の不起訴処分を不服として、検察審査会に申立てがあったとき、審査を始めます。また、検察審査会は、被害者などからの申立てがなくとも、進んで検察官が不起訴にした事件を取り上げて審査をすることもあります。

● 検察審査員の選び方は？  
まず、市町村の選挙管理委員会が、選挙人名簿に基づいて、くじて検察審査員の候補者を選びます。その中から、検察審査会事務局長が再びくじて検察審査員を決めます。また、検察審査員に欠員がでたときや検察審査員が審査会議に欠席したときに備えて、同様の方法で、同数の補充員が選ばれます。検察審査員及び補充員の任期は六か月です。

● 審査の方法は？  
検察審査会では、十一人の検察審査員全員が出席し、検察審査会を開いて、事件の記録を調べたり、必要に応じて証人を呼んだり、実地見分をしたりして、検察官の不起訴処分のよしあしを慎重に審査します。

● 審査の結果は？  
検察審査会で審査した結果、更に詳しく捜査をすべきである(不起訴不当)とか起訴をすべきである(起訴相当)という議決があった場合には、検察官はこの議決を参考にして事件を再検討します。その結果、起訴をするのが相当であるとの結論に達したときは、起訴の手続がとられます。

那覇検察審査会  
那覇市樋川一―四―(裁判所内) (電五五―三三六六)

最近、年金に対する疑問や不安の声が聞かれますが、それに対して二回にわたってお答えいたします。

問 二〇才から保険料をキチンと納めた場合、将来年金はほんとうにもらえますか。

答 沖縄に国民年金ができたのは昭和四十五年四月ですが、その頃も多くの方が戦前の郵便貯金の例から、将来国民年金はもらえないのではないかと不信感を口にしていました。しかし、現在約十一万人の方が年金総額にして約四百億円の国民年金の支給を受けています。

このころ年金があぶないと言われたのも、将来年金財政が赤字になるんじゃないかということからですが、これも現在の保険料、現在の年金給付をそのまま続けていくと将来は大変むずかしくなるということであって、必ずこのようになるわけではありません。

国は国民の福祉の向上に責任をもっているのですから、将来とも国民年金を健全に運営するために、今から将来をしっかりと見とおしながら制度を見なおしていかうというわけだいろいろ努力しています。国民年金は国が責任をもって

## 国民年金 疑問と不安におこたえします その1

運営し、国民の約四分の一にあたる二千七百万人の方が加入している大きな事業ですから、国がつぶれない限り絶対だいじょうぶです。厚生年金や船員保険などは、戦中戦後の経済的に非常に困難な時期を乗り越えて充実発展しています。将来年金はもらえないんじゃないかとというご心配は全く無用です。

問 国民年金を掛けるよりも自分で預金をした方がいいと思っているが、どちらが有利ですか。

答 「お金を貯めて将来お金がもどる」という意味では年金も預金も同じことですが、いくらもどるかという点で大きな違

いがあります。預金したお金には毎年利息がつきますから、その分増えてきます。ところが利息分よりも物価が上がると、お金の値うちはたしかに下ります。

ところで国民年金では、加入して老齢年金を受けるまでの間何十年という長い年月がかかります。この期間に物価が上がってお金の値うちが下がることを防ぐため、国民年金では物価が五%以上あがれば年金も自動的に上げる「物価スライド制」とり入れてあります。ですから国民年金では、年金をもらうときお金の価値が下がりにません。

預金の場合、物価が毎年上がっている現状では、老後に十分だと思っただけのお金も二十年三十年後には三分の一か四分の一に目べりしているかもしれせん。

また、年金は自分の積立てた金をもらうということではなく、若いときお年よりをやしない、自分が年をとった若し世代にやしなわれるという世代間の助け合いの制度です。まず国民が必ず加入しなければならぬ国民年金で老後の生活の基礎づくりをしておくことが大事なことです。

## 北糖が大会六連勝！

### 初出場の選管も健闘

各団体の親睦と交流を図るため定着してきた「第七回村内各種団体ソフトボール大会」(幹事団体糖友社)が、十一月十五日午前九時から村営グラウンドで行われた。今年度は、農協、区長会、役場、糖友社、北糖、商工会、タバコ耕作組合、農業委員会、教育委員会、それに初出場の選挙管理委員会の十一チームが参加し好試合を展開した。

好天に恵まれ、好プレー、珍プレーが続出、応援合戦も加わって盛り上がりを見せた。その結果、決勝では順応に勝ち進んだ糖友と北糖が対戦。十一対五

で北糖が大会六連勝を飾った。三位は糖友社と商工会、また個人賞の殊勲は西平守福選手(北糖) 打撃一位は松本光弘選手(議会) 二位は具志堅次郎選手(北糖) に決まった。さらに高



表-1 我が家の経営状況

作目	経営作目面積			肉用牛	山	羊
	さとうきび	パインアップル	家庭菜園			
規模	150 a	15 a	5 a	2頭		1頭
粗生産額	278万円	46万円	145千円	54万円		4万円

表-2 我が家の家族状況と役割分担

続柄	項目	年齢	農業従事日数	役割
父		75才	150日	家庭菜園、さとうきび
母		77才	250日	さとうきび、パイン、山羊の世話
主人		51才	150日	さとうきび、パイン
私		49才	250日	さとうきび、パイン、牛・山羊の世話
長男		22才	50日	さとうきび
五女		15才	30日	さとうきび
次男		13才	50日	さとうきび

表-5 わが家の野菜の自給状況

改善前	月												改善後	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
緑黄色野菜													ほうれん草 ブロッコリー ニガナ 人参 シソ ピーマン フダン草 つるむらさき 大根菜 ニンニク菜 サラダ菜 ウイキョウ スイセンナ ようさい タマシヤ オクラ トマト ネギ キャベツ 大根 きゅうり ナス パパイヤ トウガ ラッキョウ 花野菜 インゲン カブ じゃがいも 里いも さつまいも エンドウ ササゲ ウコン タミスタチン アロエ	緑黄色野菜
淡色野菜													オクラ トマト ネギ キャベツ 大根 きゅうり ナス パパイヤ トウガ ラッキョウ 花野菜 インゲン カブ じゃがいも 里いも さつまいも エンドウ ササゲ ウコン タミスタチン アロエ	淡色野菜
羊類													じゃがいも 里いも さつまいも エンドウ ササゲ ウコン タミスタチン アロエ	羊類
豆													じゃがいも 里いも さつまいも エンドウ ササゲ ウコン タミスタチン アロエ	豆
菜													じゃがいも 里いも さつまいも エンドウ ササゲ ウコン タミスタチン アロエ	菜
草													じゃがいも 里いも さつまいも エンドウ ササゲ ウコン タミスタチン アロエ	草

るなどの工夫もしました。  
 ②年間作業からもわかりますように、農業はいつも忙しいので自分ひとりではとうてい手がまわらず、家族で話し合い協力を得ることができました。  
 3 改善により変化した点  
 ①私が一生懸命に取り組んでいる野菜づくりが毎日の食卓にのびり食品の組み合わせを考へた食事ができるようになりました。  
 ②家族の協力を得て、野菜を計画的に栽培することで家族の和づくりに役立っております。  
 ③グループ活動で得た技術をもとに我が家では自家生産物を加工し、農家でなければ得られない豊かな味を味わうことができ誇りに思っています。  
 ④家計簿記帳の中で食費の占める自給野菜の割合は三二%で、さらに交際費の中で占める自給野菜の割合は三十%となっており、我が家の経済にも大きな成果を上げています。  
 ⑤新鮮な野菜を多く摂取するために始めた家庭菜園をきっかけに、少ない面積で単収の高い換金作物として本土向けサヤインゲンを試作するようになりました。

る自給野菜の割合は三二%で、さらに交際費の中で占める自給野菜の割合は三十%となっており、我が家の経済にも大きな成果を上げています。  
 ⑤新鮮な野菜を多く摂取するために始めた家庭菜園をきっかけに、少ない面積で単収の高い換金作物として本土向けサヤインゲンを試作するようになりました。

4 今後の方向と改善策  
 ①今後は牛、山羊の堆肥を大いに利用し、土づくりを行い、家庭菜園を充実させながら換金作物として野菜、サヤインゲン、マンゴー等を経営の中に取り入れていきたい。  
 ②自家用としてみかん、バナジロー、バナナ等の熱帯果樹を栽培し、果実も自家産物で自給できるようにしていきたい。

給できるようにしていきたい。  
 ③農家のよさを生かしたくらしの工夫についてこれまで家庭菜園を重点に取り組んできましたが、今後はグループの一員としてさらに学習を深め、私達の活動の和を地域へ広げていきたいと思っております。

# 上地文子さんに県知事賞

## 農山漁家で自家菜園の成果を披露 実績発表



「農漁村地域のよさを生かした活力ある明るい村づくり」をスローガンに、「五十八年度農山漁家生活改善実績発表大会」が十月十八日県労働福祉会館で行われました。大会は県農林水産部・県生活改善実行グループ連絡研究会共催で、相互の実績を交換し今後の農山漁家や地域の発展に役立てようというもので、その中で「明日の活力は家庭菜園の充実から」のテーマで発表された上地文子さん（字上運天八四三）が見事県知事賞を獲得しました。その発表をここに紹介いたします。

上地さんは、来年三月一日〜三日東京都で行われる全国大会に出場することになっています。

我が家の農業経営は、さとうきびを中心としたパイン・肉用牛の複合経営で、家族は七人（父・母・主人・私・子供三人）となっております。経営状況、役割分担については第一表・第二表のとおりとなっております。年間作業は一月〜三月のさとうきび及びパインアップルの収穫をピークとし、毎日の牛や山

羊の世話（草刈）で忙しい毎日です。我が家の一年間の農作業体系を見ますと第三表のとおりになっています。

私が野菜づくりを始めるようになったきっかけは

①グループで家族の健康管理をめぐり食生活の点検をしたところ、野菜の摂取が少ない。②野菜を買って食べると距離的に遠いところまで買いに行かなければならない。③農業収入のみでは十分な家計費がまかなえないため自給野菜を増やし、支出をおさえることが必要であった。

表-3 我が家の年間作業体系

作目	月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
さとうきび	収			種 春植 肥培管理			夏植 下葉とり					
パイン	冬実収穫			肥培管理			夏実 収穫					
牛	1日に草刈り2時間、飼育管理1時間											
山羊	1日に草刈り1時間											

表-4 わが家の生産物加工状況

項目	種類
つけもの	大根酢漬け、ラッキョウの酢漬け、ニンニク酒
味噌	赤味噌
乾物	大根のせん切り
ジャム	パインジャム、パパイヤジャム、人参ジャム
菓子類	芋カリント、甘菓子、ニガウリ・人参のチップ、パイン・人参のカステラ
牛調理食品	パインアップルのシロップ漬け、コロケ
ホームフリージング	ブロッコリー、人参、さや豆、大根
ジュース	ニガウリ、人参等の野菜ジュース、パインジュース
佃煮	小魚の佃煮、小魚のかおり漬け、干物、カラス

④家庭菜園に向けられる畑が五アールもあるが、植付種類が少なく有効に利用されていなかった。

⑤小さい頃から長男が体が弱くアレルギー性ぜんそくと診断され、体質改善が必要となり子供の健康管理のためにも安

1 改善した事項  
 これまでは夏場はうり類中心の片寄りがちな野菜づくりでしたが、現在では数多くの野菜を植付けることができました。（参照表五）

このように緑黄色野菜、淡白野菜、芋類や豆類等の植付けにより食卓をにぎわすことができ、又新しい野菜を栽培する時は意

2 改善にあたり苦心した点  
 ①病害虫が多いため夏野菜の栽培がむづかしかつたので土づくりを行ない病害虫に強い野菜を作るようにしました。またナス、ニガウリ、ヘチマ、キュウリ等のウリ類や葉菜等については袋かけや覆草をす

全かつ新鮮で栄養豊かな食事づくりをめざす必要があった。以上のような点から自給野菜の必要性を感じ始めました。

欲が出て忙しい中にも野菜の出来ばえを楽しんでおります。昨年は今帰仁村普及事業連協生改部で家庭菜園コンクールが実施され、はからずも私が優秀賞をいただきました。

# 仲原馬場

## 原山勝負とマーパラーセイ(競馬)

今帰仁村には、国指定の文化財として今帰仁城跡(史跡)と諸志御嶽の植物群落(天然記念物)があり、県指定には今泊のコパティシ(天然記念物)と天底のシマチスジノリ(天然記念物)、そして仲原馬場(史跡)がある。そのほかに国あるいは県指定にされていない貴重な文化遺産が数多くある。そのいくつかをあげてみると、

- ・津屋口および墓碑(今泊)
- ・焚字炉(諸志)
- ・神アサギ(崎山)
- ・池城墓および墓碑(平敷)
- ・シイナ城(呉我山)
- ・百按司墓(運天)
- ・古宇利のウンジャミ
- ・バル石と土手(古宇利)

などがある。そのどれをとっても、貴重な文化遺産であるといえることができる。しかし、それらの多くが文化遺産として何故重要なのかという意義づけが十分なされていないこともあり、文化財指定がされないままになっているのが現状である。国あるいは県の文化財指定を待つまでもなく、わたしたちの手でこれらの文化財としての意義を考

### 仲原馬場

え学び、そして活用・保護していくことが大事だと考えている。村文化財保存調査委員会では、村の文化財として順次指定をしていく方針をたてており、すでに運天の百按司墓については調査が進められている。そればかりでなく、今後ひきつづき他のものについても調査し、個々それぞれに文化財としての意義づけが十分なされなければならぬであろう。

さて、今回はすでに県指定の文化財になっている仲原馬場(昭和三十四年六月六日指定)について、そこを会場として催された原山勝負とマーパラーセイ(競馬)について述べてみることにする。

### 仲原馬場

仲原馬場は、ナカバルババあるいは単にババやマーウイと呼ばれることもある。今帰仁村のほぼ中央に位置する字越地仲原にあり、原名の仲原にあることから、仲原馬場の名称がつけられたと言えよう。馬場は、小学校側から成(西北西)の方向へ二五〇m程度伸び、幅約三〇m

の長方形をしている。中央部分に高さ約一m幅三〇m余りの石垣が積み上げられた。芝生がはられていたという。回りのところどころに、観覧用につくられたと思われる場所があり、土が一段高く盛られている。直径一m程のリユウキウ松が並木をなし、それは蔡温(一六八二—一七六一年)の林業政策の一環として植えられたものといわれ、蔡温松と呼ばれている。これらの松は、二五〇年近い樹齢を重ねてきている。



▶大正初期の仲原馬場「望郷沖繩」より

仲原馬場が、いつ頃つくられたのか、その起源は今のところわかっていない。しかし、馬場の老松の配置をみると、植樹した時にはすでに馬場があり、その回りに植えていった形跡がある。それからすると、蔡温の時代あるいはそれ以前から馬場はつくられていたことになる。

### 原山勝負

原山勝負は、農事を奨励するもので、一八一四年豊見城間切前地頭代座安親雲上によって案出されたといわれている。それが広く一般に行なわれるようになったという。原山勝負について各間切内法で規定されており、

今帰仁間切内法第一〇三条をみると、毎年春秋両度山原勝負トシテ山林仕立及田畑ノ耕作屋敷道路等ヲ検査シ怠リ手後レノ村方及本人ハ怠リノ依品ニ科銭申付候事と規定してある。各間切内法の起源は、寛政年間(一七八九—一八〇一年)の頃規定されたものとみられており、それに規定されている原山勝負は、一八一四年以前から実施されていたことになる。「琉球の歴史」(宮城栄昌)では、一七七三年(乾隆三十八年)にはすくなくとも行なわれていたと記してある。間切内法の規定からすると、年二回の原山勝負が行なわれることになるが、今帰仁ではアアシバレーの時の原山勝負が盛大に行なわれている。

・諸木の技業伐取後などがあがる。山勝負の例を国頭間切からあげると、

- ・杉・杉穂しらべ
- ・杉助木立後
- ・諸御用木御仕立敷小木内草刈後
- ・諸御用木並唐竹又は山中御仕立之松へ、はいかつら・かつら取り後

などがある。原勝負あるいは山勝負の調査項目に反すれば料金が申し付けられた。

大正時代になると、調査項目が減ってくる。甘藷諸作物の手入・砂糖製造・畜産・堆積肥料・蔬菜品評会成績・家屋敷掃除などの審査が行なわれるようになる。大正六年に発行された『国頭郡志』は、明治から大正にかけての原山勝負の移り変わりを、「琉球政府から派遣された田地奉行の指揮の下に、地頭代・惣耕作・惣山当をして審査項目を選定させ、村吏員を使って各字の調査をさせて、その後更に田地奉行自ら巡検をし、若し不足があれば村吏員は厳しく処罰される。当時は藩府や官吏の権威が甚だしかったこともあり、一般人民や村吏員は極力熱意をもって原山勝負に望み、成績も良かった。

しかし、現今(大正六年頃)になると原山勝負の審査員が役

場中心となり、審査項目も少なくなり成績によって、一等に原山の各優勝旗を授与し勝った方に金品を与えて奨励するようになった。以前行なわれた負けた方に過怠金を課し、あるいは係員が総代として仮装行列をさせられるようなことはなくなった。「そのために原山勝負が多少軽視されるようになったことはどうか」と懸念されている。

原山勝負は、時代とともに畜産品評会や重要物産品評会や蔬菜品評会などへ分化発展していき、原山勝負の果たした役割も、農業技術の向上発展・生産への意欲・衛生観念の昂揚・山林育成保護・農村社会の娯楽的要素の面で大きかったと言える。このようにみてみると、原山勝負は十八世紀以降の農村社会をしようとして重要な意義をもっていることがわかる。

### マーパラーセイ(競馬)

マーパラーセイ(競馬)は、原山勝負の表彰後に、余興として行なわれるもので、他に角力や闘牛もある。そのマーパラーセイがいつ頃から行なわれるようになったかわかっていない。

明の『大宋実録』に「琉球国山北王攀安知、赤佳結制らを遣わして馬及び方物を貢じ…」

四〇五年)とあり、明国への進貢物として馬が送られている。冊封使関係資料には数多くの、馬についての記事がある。例えば、「赤脚にて乗馬して去る」「馬数百を發し、那覇に至りて相迎えしむ」「鼓樂を設け、走馬、并刃…諸戯あり」と記されている。

仲原馬場で行なわれた競馬の走法は、すぐ頭に描く大和馬の飛足でなく並足で速さを競うものである。馬場中央部の観覧席(石垣の積まれた所)には、地頭代以下の役人や来賓、そして審判員たちが陣取り、そこからスタートである。鞍をとりつけた馬に人が乗り、四、五頭が出発点に集まる。馬場を何回まわるかは、あらかじめ決めておく。集まった馬の呼吸を合わせるために調査をとる。吹吸が合ったところで、「ハイサイ」と大声で合令がかかり、一斉に並足で忠魂碑の方へ向って走り出し、そこを折り返し出発地点を通過し学校側で折り返し、スタート地点がゴールである。馬場の広場を一周するコースである。乗馬している人は、馬が一足飛に走らないように、「るシーティどー、るシーティどー」と、馬に言い聞かせるように声をかける。人馬一体になって走っている姿は、真剣そのもので観衆の感動

を呼び起こすものである。中には、一足飛に走り出すものもあり、方向を間違えるもの、歓声に驚いた馬から落ちるものには、笑いと拍手と笛の喝采が湧き起こる。よく走る馬に「アクターコージ」と呼ばれるのかいたという。乗馬に使われるのは、在来種の「コージャーウマ」「コージャーグワア」が多かった。天底の一人が、大和馬で参加するようになってから、大和走り(一足飛)もするようになったという。その日の最後には、参加したほとんどの馬が、一斉に走るブリマー(郡馬)がある。そのことについて仲宗根政善先生は、「源平の戦乱を思わせ、まるで絵巻物をくりひろげるようであった」と表現されておられる。

### おわりに

仲原馬場、そして周囲の蔡温松の数は二〇本足らずになっていく。蔡温松の側には、二〇年余りの年輪をきざんだ若松が勢いよく伸びており、世代の交代を思わせる。松並木の下で行なわれた原山勝負と競馬は消え去ってしまった。が、まだ原山勝負あるいは競馬を体験され、御存知の方々が大勢いらっしゃることに、ほっとしている。今後とも調査を継続して行くつもりである。

- ①今帰仁小学校「創立百周年記念誌」「学校沿革の年表」参照。
- ②「琉球の歴史」宮城栄昌 吉川弘文館一四六頁。
- ③「浦添間切畑劣」明治三十一年十二月二三日琉球新報記事参照。
- ④「国頭間切山勝負之科定条々」山林制度「近世地方経済史料」第九卷一八五頁。
- ⑤「国頭郡志」島袋源一郎八九頁を略述したものである。
- ⑥冊封使録関係資料「那覇市史」資料編第一巻三参照。
- ⑦「むかし沖繩」琉球新報社編「今帰仁の馬場」二二〇頁。付記、本稿を記すにあたり、次の方々の話を参考にしたところが多い。紙面にて厚くお礼申し上げます。
- 新垣金吉さん(天底六一)
- 我那覇隆儀さん(謝名七四〇)
- 島袋吉政さん(諸志一三三)

村文化財保存調査委員  
仲原 弘 哲

### 青年会が文化祭

村青年団協議会では、来る12月10日(土)・11日(日)の両日、役場ホール及び中央公民館において「第一回今帰仁文化祭」を開催します。これは、祖先より受け継がれた伝統文化遺産の灯を消すことなく「正しく継承・発展」させよう——をテーマに掲げたもので、村民に文化に対する理解と関心を広め相互の親睦を深めることを目的としています。

当日は、写真、絵画、書道、民具等の展示の他、各支部青年会による舞台発表、モチつき等の各種コーナーを含め数多くの催し物が企画されています。

12月10日(土) 展示 12時～18時(中央公民館) 開会式 13時  
12月11日(日) 展示 9時～16時(中央公民館) 舞台14時～15時(役ホール) 各コーナー10時～15時(中央公民館)

○主催—村青年団協議会  
○後援—今帰仁村、村教育委員会、村婦人会、村老人クラブ

### 移動心配ごと相談

村社協では、毎月一回移動相談所を開設しております。生活上のあらゆる相談に無料で応じていますので、ご利用ください。

12月の相談所は12月21日(水)午後1時から5時まで平敷公民館で行います。

### ご寄附

村育英会に次の方々より寄附がありました。ご芳志ありがとうございます。

○大阪市西成区松3-1-22の新城克己氏から父親源三氏(今泊出身)の香典返しとして100万円。

○大阪市西成区北津守3-6-6の高良武裕氏(謝名出身)から活動資金として30万円。

### 村立保育所入所申込について

村立の4保育所では、昭和59年度の入所希望者を受けています。期限は59年1月末日までになっていますので、希望者は申込用紙、入所希望児の健康診断書、住民票謄本を添えてお早めに村役場厚生課へお申込ください。

なお、申込用紙や入所規準等につきましては、直接厚生課へお問い合わせください。



### ご利用ください 便利な県民手帳

沖縄県統計協会では、県勢が一目でわかる県民手帳五十九年度版を発行いたします。

この手帳は、沖縄県および県内市町村、各都道府県のすがたを数字であらわし、また日常生活に役立つ最新の資料や知識も収録してあるのが特徴です。

サイズ(二種類)  
○大判ビニールコード表紙綴り込み 三〇八頁(八五ミリ×一四〇ミリ)……………六百円  
○ポケット判ビニールコード表紙差し込み 三〇八頁(六七ミリ×一一〇ミリ)……………二百六十円

ご利用の方は、十二月十五日(木)までに村役場企画財政課統計係(電二一〇一)へお申し込みください。

## 若き後継者たち

17

### 大工もこなす器用人 仲宗根の諸喜田守さん



今回は、母親の節子さん、姉の絹代さんの三人で諸喜田鮮魚店を営む諸喜田守さん(三十三歳、字仲宗根二七八)に登壇願った。映画「卒業」のダステ

五年前、古宇利で漁業を営んでいたのを家族で越してきた。守さんが五歳の時だ。北山高校卒業後、「家業を継ぐ気は全くなく」、東京の日本電気専門学校で学び、約二年間テレビのサービス会社に就職した。帰郷し器用人を始めたのが、父親が亡くなった八年前からだという。

鮮魚店の一日は、早朝セリ市場(名護市)での仕入に始まる。当日売上分を仕入れた後、魚の解体、販売準備と鮮度が売物のため手際よく片付けなければならぬ。客が集まるのが夕方四時から七時頃。今頃は、マグロやサワラの刺身がよく売れるのだそうだ。

天気の良い日は、自分の釣舟

### 人権の尊重で住みよ、社会に 十二月四日～十日は人権週間です

「人権の共存―互いに相手の立場を考へて豊かな人間関係を―つくりだす」をスローガンに、第三十五回人権週間が十二月四日から十日まで行われます。

この週間は、法務省・全国人権擁護委員連合会共催によるもので、世界人権宣言の採択三十五周年を迎えるにあたり、十二月十日の人権デーを最終日とする一週間を「第三十五回人権週間」とし人権意識の普及・高揚を図ることを目的としています。

名護支局管内では、三日午後二時から名護市内・十日午後二時から金武町内で人権街頭パレード、九日午前十時から今帰仁村中央公民館で特設人権相談所を開設します。

みなさんの生活の中で人権問題・登記・金銭貸借・戸籍その他法律問題でお困りの方はお気軽にご相談ください。相談は無料と秘密は守られます。なお私達今帰仁村の人権擁護委員は、村上仁賢、比嘉盛一、上間カズ三の三氏です。

### 花の香に包まれる会場 老人クが菊展示会

村老人クラブ主催の「第八回菊展示会」が、十一月十九日(日)中央公民館で行われた。これは、老人の生きがいづくりと生産活動を目的として毎年行われているもの。今年も菊とラン合わせ七十六点が出品された(写真)。

各部門の入賞者は次のとおり。

- 大菊―座間味栄光
- 玉づくり―座間味栄光、座間味ヒサ子、玉城徳助、玉城トキ、金城正吉、宮里政正、宮里ツル、渡慶次道福、渡慶次

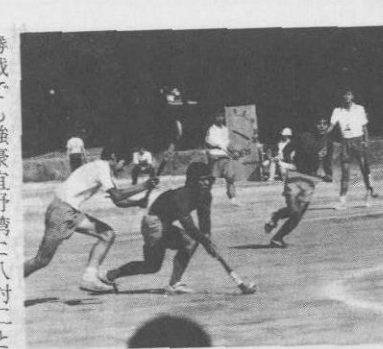


ウシ  
○盆栽―金城正吉、座間味栄光  
○ラン―上間源松、当山ウメ、当山フミ  
○特別賞―宮里政正、当山ウメ  
上間源松、座間味栄光、渡慶次道福、玉城徳助

### ホッケーで優勝 県民体育大会で国頭チーム

第三六回県民体育大会が、十一月十九日・二十日県下一斉に行われた。二十日九時から村営グラウンドでホッケー競技があり、六十二年国体において本村で実施される競技とあつて注目を集めた(写真)。

参加チームは、国頭、那覇、宜野湾、名護の四チーム。国頭代表として、本村からは村役場光武病院混合チームが出場した。国頭チームは日頃の練習よく、緒戦の名護に九対〇で快勝。決



### 三輪茂穂氏に 青少年育成功労表彰



青少年に夢と希望と責任を、など四つのスローガンを掲げ、第四回県青少年育成大会が、十一月十九日労働福祉会館で行われました。大会は青少年育成関係者が一堂に会し、心身ともに育つための考える機会にしようというもので。

席上、功労者の表彰が行われ、字仲宗根三〇一の三輪茂穂氏(四二歳・牧師)が青少年健全育成功労者として表彰されました。表彰は十六年余にわたり、子ども会、ボーイスカウトなど青少年団体の結成・育成に多大な尽力をしたというものです。



12月1日  
1月1日

# 村民カレンダー



12月1日 木		17日 土	○天小校家庭教育学級 ○手づくり料理講習会(14:00、中央公民館) ○健康相談(8:30~12:00、保健婦室)
2日 金		18日 日	
3日 土	○国体準備委員会発足総会(14:00、役場ホール) ○健康相談(8:30~12:00、保健婦室)	19日 月	○婦人講座(14:00、中央公民館)
4日 日	○第5回今帰仁村卓球選手権大会(9:00、今帰仁小) ○第17回青年駅伝大会(9:00、役場前)	20日 火	○定例区長会(14:00、役場会議室) ○社会教育懇談会(14:00、中央公民館)
5日 月	○定例区長会(14:00、役場会議室) ○村公連役員会(16:00、中央公民館)	21日 水	○移動心配ごと相談(13:00、平敷公民館) ○高齢者教室、歌・三味線とその心・ナークニー大会(14:00、中央公民館)
6日 火	○肉用牛セリ市(12:00、家畜セリ市場)	22日 木	○1歳半健診(13:00、14:30、役場ホール)
7日 水	○心配ごと相談(13:00、中央公民館) ○沖公連研究大会(9:30、那覇市民会館) ○乳幼児学級(13:30、中央公民館)	23日 金	○文化講座(14:00、中央公民館)
8日 木		24日 土	
9日 金	○特設人権相談(10:00、中央公民館) ○県視聴覚教育研究大会(9:00、北部会館)	25日 日	○生花教室(14:00、中央公民館)
10日 土	○子豚セリ市(13:00、家畜セリ市場) ○第1回今帰仁文化祭(11日まで役場ホール、中央公民館)	26日 月	○子豚セリ市(13:00、家畜セリ市場)
11日 日	○生花教室(14:00、中央公民館)	27日 火	○村公連研修会(9:00、具志頭村)
12日 月	○今帰仁小家庭教育学級(14:00、今小)	28日 水	○御用納め
13日 火	○デイケア(13:00~17:00、役場ホール) ○牛の高等登録	29日 木	
14日 水	○はしか予防接種(13:00~14:00、中央公民館) ○心配ごと相談(13:00、中央公民館)	30日 金	
15日 木	○社会教育委員会(14:00、中央公民館)	31日 土	
16日 金	○農業委員会総会(10:00、役場会議室) ○はしか予防接種(13:00~14:00、役場ホール)	1日 日	○元旦

■今年も遠慮なく師走が訪れた沖繩でも冷え込みが一段と厳しい今日この頃。時節の変化が人の世の機微を教えてくれる。木枯の吹きすさぶ夜は、静かに人生の意味について考えてみたい。■文化財保護か/環境整備か!と切り出すのは少し大げさだが、今泊で防火水槽工事が県指定天然記念物コバテイシを傷つけるということではホットな論議を呼んだ。字にとっては生活基盤も大切だが、文化財保護はそれ以上だというもの。結局、道路上に埋設することで一件落着いた。■変哲もない話題だが、多くの字民が文化財に対する意識を高めたのも事実。過去・現在・未来の接点となる文化遺産が私たちに与えてくれるものは大きい。■皆さんにとって今年はどうな年だっただろうか。良しにつけ悪しきにつけ、今月は一年の締め括りの月。来年に夢を繋ぐひと月にしよう。編集子も辛かった日々を忘れ、来年は村民の声を紙面に活かすよう努力したい。

